

■調査概要

1. 調査目的

(1) 環境に関する意識や行動について

近年、地球環境を取り巻く状況は大きく変化しており、気候変動への適応策や海洋プラスチック問題など、新たな環境問題が取り沙汰されています。そのような中、国によって令和2年7月1日からプラスチック製買物袋（いわゆるレジ袋）が有料化されるなど、皆様の生活に大きく影響する取組も実施されています。

このアンケートは、環境に関する皆様の意識や行動をお聞きして、今後の環境施策を進める参考とさせていただくためのものです。

(2) 広報活動について

本市では、市民に開かれた市政、市民協働によるまちづくりを進めるため、さまざまな広報活動に取り組んでいます。現在、「広報さかい」「堺市くらしのガイドブック」「堺市ホームページ」「SNS」などの各種媒体を用いて広報活動を行い、広く市民と行政をつなぐ様々な活動を行っています。

今回のアンケートでは、本市の広報活動についての市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広報活動の充実に活用していきたいと考えています。

(3) 消費者問題について

近年、規制緩和や高度情報化・国際化の進展等により、社会経済情勢は大きく変化しています。これにより、多種多様な商品・サービスが様々な方法で提供されるなど、消費者の利便性や選択肢は大きく拡大しています。

本市では、多様化・複雑化する消費者問題に的確・迅速に対応するため、平成22年4月に「堺市消費生活条例」を施行し、消費生活相談による消費者トラブルへの対応や条例違反事業者に対する指導、被害を未然に防止するための情報提供などを行っています。また、平成28年2月に「消費者教育の推進」を重点課題のひとつとして策定した「第2期堺市消費者基本計画」を基に、市民の皆様が安全・安心な消費生活を営むことができる暮らしの実現をめざしています。

今回のアンケートは、市民の皆様がこれまでの生活の中で経験された消費者トラブルの実態や、消費者問題についてのご意見をお伺いすることで、本市消費者行政の課題等を明らかにし、今後の施策に反映させるなど、より効果的な取り組みの基礎資料とするために実施するものです。

(4) 文化芸術について

本市では、自らのまちを愛する心を共有し、誇りに感じることのできる「文化芸術創造のまち堺」をめざし、文化芸術の振興に関する施策を進めているところです。

今回のアンケートは、本市における文化芸術振興について市民の皆様のご意見をお伺いすることで、平成28年3月に策定した「自由都市堺文化芸術推進計画」の目標の達成度等を把握し、「自由都市堺文化芸術推進計画」の検証・評価に活用するものです。

(5) 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について

本市では平成 26 年 10 月に「堺市自転車のまちづくり推進条例」を施行し、また、令和元年 8 月には、「堺市自転車利用環境計画〈追補版〉 - 重点アクションプラン -」を策定し、自転車のまちづくりを進めています。

また、「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン 50km」に基づき、自転車通行環境整備に取り組んでいます。

今回のアンケートは、「自転車のまち 堺」として積極的に取り組んでいる自転車に関わる施策のうち、「安全利用・利用促進」に係る施策と「通行環境整備」の効果を検証するとともに、今後における施策展開の参考とするために実施するものです。

なお、設問については過去と同様のものがありますが、経年変化を確認しておりますのでご了承願います。

2. 調査期間

令和 2 年 8 月 26 日（水）～令和 2 年 9 月 9 日（水）

3. テーマ担当課

(1) 環境に関する意識や行動について

環境局 環境都市推進部 環境政策課

(2) 広報活動について

市長公室 広報戦略部 広報課

(3) 消費者問題について

市民人権局 市民生活部 消費生活センター

(4) 文化芸術について

文化観光局 文化部 文化課

(5) 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について

建設局 自転車まちづくり部 自転車企画推進課、自転車環境整備課

4. 調査方法

(1) 対象

市内在住在勤在学の18歳以上で、公募による市政モニター

(2) 人数

498人（eモニター407人、郵送モニター91人）

(3) 調査方法

調査票（回答用紙）への記入、インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

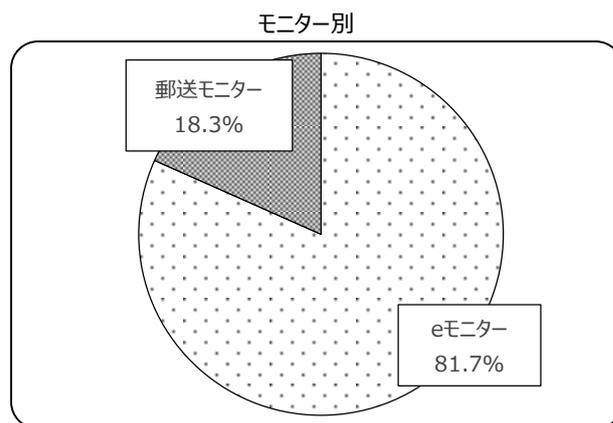
回答対象者498人に対して、有効回収数486人 回収率97.6%となった。

5. 報告書の見方

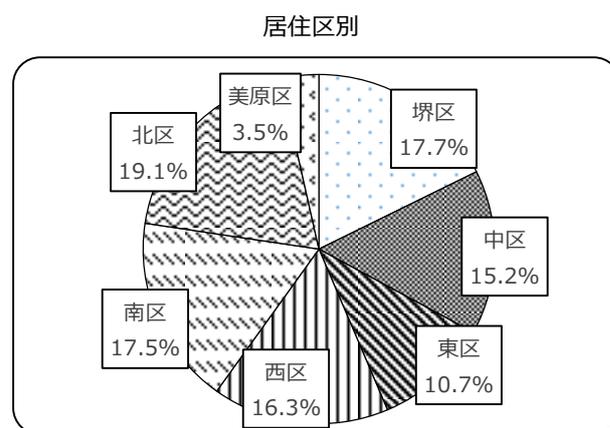
- (1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は486である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。
- (2) 個々の選択比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。
- (4) 「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■回答者属性

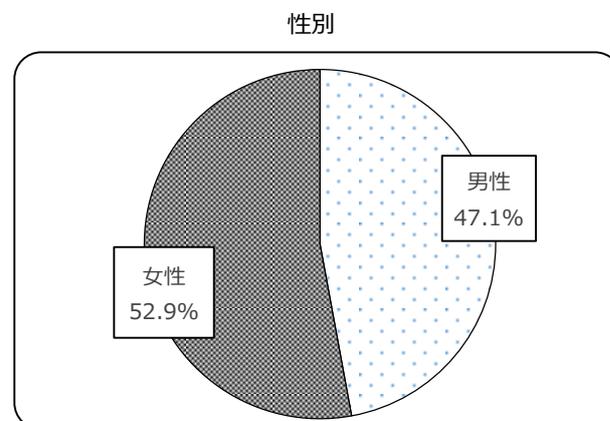
モニター別		回答数	構成比
1	eモニター	397	81.7%
2	郵送モニター	89	18.3%
	計	486	100.0%



居住区別		回答数	構成比
1	堺区	86	17.7%
2	中区	74	15.2%
3	東区	52	10.7%
4	西区	79	16.3%
5	南区	85	17.5%
6	北区	93	19.1%
7	美原区	17	3.5%
	計	486	100.0%



性別		回答数	構成比
1	男性	229	47.1%
2	女性	257	52.9%
	計	486	100.0%



年齢別		回答数	構成比
1	18歳以上 30歳未満	63	13.0%
2	30歳代	68	14.0%
3	40歳代	93	19.1%
5	50歳代	77	15.8%
6	60歳代	66	13.6%
7	70歳以上	119	24.5%
	計	486	100.0%

